

■児童・生徒の学力の状況

○全国学力学習状況調査から、国語の平均正答率は全国平均を5ポイント以上上回り、東京都の平均も超えている。特に「知識・技能」の正答率が82.6%と高い。

○数学の平均正答率は、東京都の平均と同等であり、全国平均を上回っている。「数と式」が70.9%と最も高く、基礎的な計算や概念の理解が進んでいる。

○英語の3技能については、聞くことの正答率が高く、書くことについては、事実や考えを書く能力が優れている。読むことは、難易度があがると正答率が下がる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○国語については、文章の要約や話し合いの内容を踏まえた自分の考えの構築に課題がある。

○数学は計算力には優れているものの、関数とデータの活用に関する記述問題への対応に課題がある。

○英語は、複雑な内容の読解と、それに基づいた書くこと（考えとその理由）に課題がある。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○各教科において、自己選択型学習を多く取り入れ、自己の課題に合わせた学習が行えるよう支援する。

○授業中にグループワークやペアワークをより積極的に取り入れ、他者と意見を交換する機会を増やすことで、思考力や表現力を養う。

○数学の授業では、習熟度別少人数指導の強みを生かし、自己選択型学習の中で基礎問題から応用的な照明まで、段階的に難易度を上げていく演習を充実させる。

○家庭学習において個別最適化された主体的な学びを実践させるため、生徒が自己の課題を発見し、解決策を考え主体的に実践できるよう支援する。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	総合的な学習の時間との連携
○各教科で板橋区区授業スタンダードに準拠した形で授業を展開し、各自が着地点や自己の理解度を把握できるように、めあてや振り返りを工夫する。 ○自己選択型学習を多く取り入れる	○総合的な学習の時間の中で、探究的な学習を自己選択型で実践する。これにより、自己で目標設定をさせた、探究的な学習を実践させ、自分の力で課題を解決できる力を養う。	○総合的な学習の時間で養った、探究的な学習方法を各教科の学習の中に、各自で取り入れられるよう工夫し、個人に合わせた学習の深め方を身に付けさせる。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
板橋第四小学校と合同で作成した、小中一貫カリキュラムをもとに、読み解く力の育成を実践する。 また、地域の祭礼などにも板橋第四小学校と一緒に参加し、郷土愛の育成を行う。	日頃から多様性を尊重できる心情を育成し、他者との違いを認め、それを尊重しあえる人間関係を構築させることにより、常に他者に対し思いやりのある行動がとれる生徒を育成する。 自分たちが企画運営できる運動会を実施したり、普段の体育の中でも目的の明確化や振り返りを行うことで、健康への関心を高めながら実践力を養う。	全体に個を合わせるのではなく、教員が個の特徴を理解し、個にあった支援を行うことにより、多様な生徒へ対応できる学校力を高める。 特に別室指導教室を活用した不登校ぎみの生徒や、様々な特色を有する生徒に対し、個別最適化された支援を行うことにより、将来への目標や具体的な努力方針などをもたせる。